

飯伊 産業経済動向

No.453 2016/12
(29. 1. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,973 枚	6.8 %	△ 4.8 %
	金額	4,701,810 千円	26.1 %	△ 4.8 %
うち不渡発生状況	枚数	0 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 0 枚)
	金額	0 千円	(前月 0 千円)	(前年同月 0 千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	5 件	(前月 9 件)	(前年同月 8 件)
	飯伊	1 件	(前月 0 件)	(前年同月 1 件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(11月)		50 戸	△ 2.0 %	△ 13.8 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(11月)		1.56 倍	(前月 1.52 倍)	(前年同月 1.40 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,082 台	0.4 %	△ 9.6 %
	中古車	558 台	3.7 %	△ 10.9 %
軽自動車新規登録台数 (長野県自動車協会)(11月)	新車	3,897 台	2.6 %	△ 7.5 %
	中古車	774 台	△ 10.3 %	1.0 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	112,900 台	△ 6.6 %	1.9 %
	出	115,670 台	△ 4.4 %	1.1 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	77,869 台	△ 13.8 %	4.4 %
	出	77,536 台	△ 14.4 %	5.6 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	12,079 台	△ 25.3 %	△ 11.5 %
	出	12,498 台	△ 24.7 %	△ 10.7 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	38,193 台	△ 19.2 %	△ 3.1 %
	出	39,091 台	△ 16.6 %	△ 1.3 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		206 件	24.1 %	△ 12.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		6 件	(前月 5 件)	(前年同月 24 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	28,239 人	10.4 %	1.9 %
	飯田～名古屋	18,090 人	2.7 %	6.3 %
	飯田～長野	8,605 人	△ 7.3 %	△ 3.2 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,766 人	9.8 %	3.5 %
	右回り	3,869 人	11.3 %	5.4 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当相談所が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに進めています。



100%植物性インキ
[リサイクル紙100%]を使用しました。

再生紙を
使用しています

概 況

製造業

12月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス13.8で、前月から20.5ポイント上昇。翌月予測もプラス16.7で、前月から6.7ポイント上昇している。

リードリレー、モーター制御向け基板など電気・精密機械器具の販売の前月比は、一部にやや増加との声もあるが、やや減少との声が多い。しかし、「国内が急に立ち上がった」など受注の増加などから景況感が好転した業者が少なくない。半導体、液晶製造装置向け部品の受注、販売の前月比は、一部にやや減少との声もあるが、やや増加～増加との声が多く、景況感が好転した業者も少なくない。産業機器や医療機器等部品の受注の前月比は、やや減少との声も複数あるが、やや増加ないしは増加との声が多く、景況感が好転した業者も少なくない。建築用金属製品の売上は、前月比横ばいも、前年比が増加していることもあって、景況感がやや好転との声が寄せられた。自動車向け部品の販売は、前月比やや減少、景況感が悪化した業者も見受けられた。小型電磁機器の販売の前月比は、概ね横ばい。一部に前年比増加との声も聞かれたが、当月の景況感に動きは見られない。FA関連モーターでは、「受注は、産業機械向け、車載向けともにほぼ横ばいで推移」との声が寄せられた。電気、電子製品では、「各方面から引き合いは増大」など景況感好転との声が寄せられた。しかし、技術者の不足は深刻という。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比、前年比は、業者により増減分かれる。「年末向けの受注量は過去最高。年末市場に限って言えば景況がやや上昇か」などの声の一方、「前年対比は相当落ちている。2～3月に期待したい」などの声も。水引製品の販売は、前月比減少～やや減少。一部に前年比はやや増加との声も。雇用面で、「年々12月に入ってからのパート、アルバイトの確保が難しくなってきた」との声が聞かれた。漬物の販売は、前月比、前年比ともやや増加、「例年12月は下旬にならないと動かないが、今年もそうした傾向だった」との声が寄せられた。

建設業

12月の建設業の景況DIは、マイナス26.7で、前月から42.1ポイント下降。翌月予測DIは、マイナス12.5で、前月より12.5ポイント下降している。

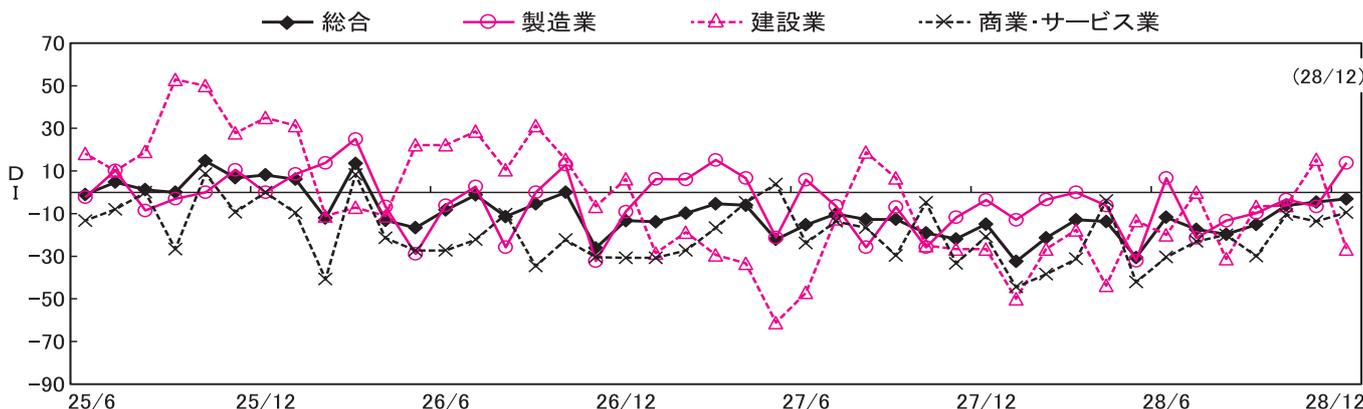
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約10.4億円で、前月比は39%減少、前年比は66%増加している（1月15日調査時点）。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや減少～横ばいとの声が多い。やや増加との声も複数あるものの、こうした業者でも「補正予算でいくらか工事が出始めたが、まだまだ競争は厳しい」など景況感の好転には至っていないほか、「昨年とは比較にならないほど受注残高は減少」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者も少なくない。

民需の住宅着工戸数（11月）の住宅着工戸数は50戸。前月比2%減少、前年比も14%減少している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、業者により増減分かれる。「新築住宅はポツポツといったところだが、契約までに長い時間と手間がかかる」などの声が寄せられ、多くの業者で景況感の好転には至っていない。

商業・サービス業

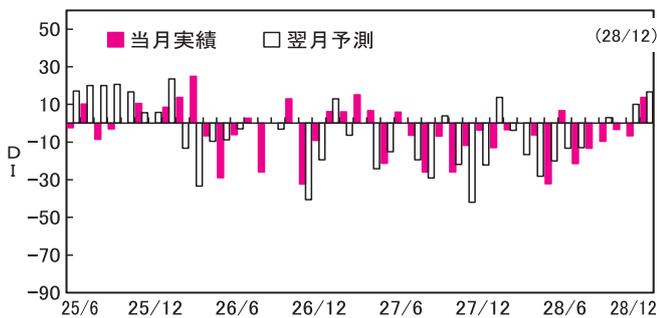
12月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス9.5と、前月より4.1ポイント上昇。翌月予測DIも、マイナス15.8で、前月より6.9ポイント上昇している。食料品の売上の前年比は、業者により増減分かれる。「9月から少々落ち込んでいたが12月はケーキ等季節商品の予約により増加した」「30日の売上減がやや影響」などの声。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比増加。家事用品卸の売上は、前月比やや増加、前年比はほぼ横ばいという。家電の売上は、前月比やや増加、前年比はやや減少～概ね横ばい。OA機器の売上は、前月比やや増加、前年比はやや減少との声が寄せられた。衣料品の売上の前月比は、業者により増減分かれる。娯楽用品の売上は、「クリスマス商戦期でもあり前月比は大幅増加。前年比は変わらず」との声。土産物関連の売上は、前月比減少～やや減少。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比ほぼ横ばい、前年比は10%減少。11月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は前月比3%増加、前年比は8%減少。自動車販売、整備の売上は、前月比やや増加も、「12月は商談が少なかった」などの声。市内料理店の売上の前年比は、業者により増減分かれる。「昨年と比べ出前が多く、その分プラス」との声も聞かれたが、こうした業者でも景況感「良くなるとは思われない」という。屋神温泉の売上は、減少～やや減少。「紅葉、ナイトツアー終了後お客様は減少している」という。「客層が変わったことが実感として感じ取れる。高齢者のお客様が減少し、若いカップル、女性グループが非常に目につくようになった」などの声が寄せられた。旅行代理店の売上は、前月比やや減少。タクシーの売上は、前月比やや増加、前年比はやや減少という。

飯伊地区景況DI（本誌調査）



地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）

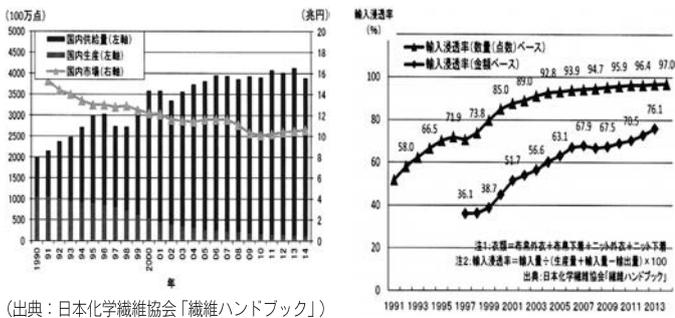


当月実績	13.8	(前月	-6.7)
翌月予測	16.7	(前月	10.0)

当月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス13.8で、前月から20.5ポイント上昇。翌月予測もプラス16.7で、前月から6.7ポイント上昇している。

経済産業省の「アパレル・サプライチェーン研究会報告書」によると、「国内の衣料品市場規模は、1990年に約15兆円であったが、2010年には約10兆円にまで縮小している。他方、同時期の国内生産と輸入を合わせた国内供給量は、約20億点から約40億点に倍増した。従って供給単価は下がったことになる」「この間に衣料品の輸入浸透率は約50%から96%へと急激に上昇しており、主に縫製の工程が海外にシフトしたことを示している」という。

国内供給量、生産量、市場の推移と、国内市場における輸入浸透率

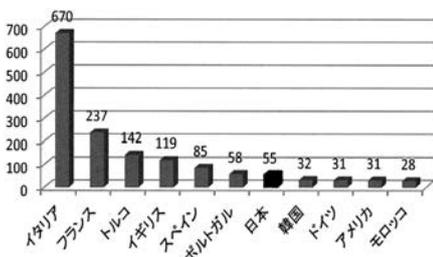


(出典：日本化学繊維協会「繊維ハンドブック」)

一方、「中～高価格帯の、丁寧な仕上げや高い技術力」や、「小ロットの注文にフレキシブルに対応できる能力」などは「一般的に知られていないが海外の高級ブランドからも高く評価」されており、「素材に関しては幅広く扱えること」「多様な製織・ニットの製造能力を有する」「幅広い製造機械の技術力がある」

海外から評価される国内製造品の品質、技術、開発力

ブルミエール・ヴィジョン・パリ 2016年2月展 国別出展者数の上位10カ国



※ブルミエール・ビジョンは、パリで年2回開催される世界最高峰のファッション素材と加工技術の国際見本市。欧州各国ブランドが主な顧客。展示が認められるためには事務局主催の厳しい審査を通る必要がある。2016年2月には日本から55社（全体で7位）が出展。

など「先進国の中では、イタリアを除き、例を見ない深みを持ったサプライチェーンを有する」といった「日本のアパレル産業、特に要素技術の強み」は「評価されてしかるべき」としている。

こうした中、政府の環境整備への取り組みとともに、民間製造事業者にとっては「消費者であるとともに企画、経営にも携わる女性の活躍」を伴う「消費者ニーズの把握」、「リードタイム短縮への対応やサプライチェーンの各部分で生産情報を共有するためのIT投資、レイアウト合理化や管理会計の導入、多台持ちの実現など」の「地域の専門家などの指導を受けつつ行う設備投資と生産性の向上」、「研修生の確保も困難となりつつある」中における「人材の確保と育成」、「デザイナーとの連携」を中心とする「デザインと企画、製造の融合、ブランディング」、「縫製企業も、日本の加工技術への認識の高まりやマッチングサイトの充実を受け、海外からの引き合いが増えることが見込まれる」中における「海外市場への展開」などへの取り組みが期待されるという。

機械加工製造業

リードリレー、モーター制御向け基板など電気・精密機械器具の販売の前月比は、一部にやや増加との声もあるが、やや減少との声が多い。しかし、「国内が急に立ち上がった」など受注の増加などから景況感が好転した業者が少なくない。こうした業者の中には、「急速な部材不足、人材不足が生じてしまった」「納品までに時間がかかり過ぎている。人員確保ができなければ更に納期が延びてしまう。なのに派遣会社にも人がいない」などの声も。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。設備面で、一部に積極的な声が聞かれた。

半導体、液晶製造装置向け部品の受注、販売の前月比は、一部にやや減少との声もあるが、やや増加～増加との声が多く、景況感が好転した業者も少なくない。「スマホ関連は調整中」「製造装置は増産」「FPD関連増産」「IoT、AI、車向け増産中」「半導体製造装置関連は好調」などの声が聞かれた。先行きの受注、販売の増加を見込む声も多く、「増産はかなり長期に渡り続く」「第2四半期くらいまで増産」などの声が寄せられた。こうした業者には、「増産に向けての前倒し生産を含め製品在庫は増加」「人員不足。補充予定」などの声がある。設備面でも「更新検討中」「春ごろ予定」などの声。原材料、資材価格に関し、当月は、「一部で上昇」しているものの、概ね横ばいとの声が多いが、先行きの上昇を見込む声も少なくない。

産業機器や医療機器等部品の受注の前月比は、「12月に入って動きが悪くなった」「大口が減少」「工作機械向け減少」「11月分より減少」などやや減少との声も複数あるが、やや増加ないしは増加との声も多く、景況感が好転した業者も少なくない。「一部製品は低迷中だが、ロボット向けなどでは急な増産」「全般に忙しい。特にロボット関係。各社とも忙しそうだ」「外注品の受注があった」「受注増加に伴い納期遅れも増えている」などの声が寄せられた。「一部の製品では長期に渡り増加傾向が続く見込み」「全般に動きが悪いとの声が多いが、1月くらいから動くとの声も多かった」など先行きの生産増加を見込む声も多い。

「今月からステンレス上昇」など原材料、資材価格

が上昇、ないしは上昇を見込む声は多い。製品価格に大きな動きはなかったとの声が多いが、「コストダウンの要求」など下降、ないしは下降を見込む声が複数ある。雇用面では、「戦力になる人募集」「パート社員複数名募集。次月に採用の予定がある」「一部に不足感。技能者増員予定」「増員を検討」「増員予定」など積極的な声が少なくない。設備面では現状維持との声が多いが、「一部不足。増設予定」「機械を予定」「考慮中」などの声も聞かれた。

建築用金属製品の売上は、前月比横ばいも、前年比が増加していることもあって、景況感がやや好転したとの声が寄せられた。「都内の案件を中心に相変わらず発注遅れが続いている。当月工事開始予定だった案件でようやく見積依頼が出ている状況。今後大変なことになるのではないか」との報が寄せられた。「鉄を中心に資材価格が上がっている。今後かなりの上昇が見込まれる」という。

自動車向け部品の販売は、前月比やや減少、景況感が悪化した業者も見受けられた。一部に先行き弱含みとの声もある。「アメリカ次期大統領の発言があったが、政策の帰趨を注視している」との声が寄せられた。雇用面で依然不足感があるとの声が聞かれ、こうした業者では「フルタイムの希望者が集まらない。パートタイム労働者を募集している」という。

小型電磁機器の販売の前月比は、概ね横ばい。一部に前年比増加との声も聞かれたが、当月の景況感に動きは見られない。先行きに関する景況感が好転している業者も見受けられた。一部に原材料、資材価格がやや上昇しており、この傾向が続く見込みとの声も聞かれた。雇用面、設備面では、ともに概ね現状維持の様子。

FA関連モーターでは、「受注は、産業機械向け、車載向けともにほぼ横ばいで推移」との声が寄せられた。販売額の前年比がやや増加したというが、景況感に変動は見られない。先行きも大きな動きは見込まれていない様子。

電気、電子製品では、「各方面から引き合いは増大」など景況感は好転との声が寄せられた。しかし、「開発部門の人員は不足。非常に頭が痛い」など技術者の不足は深刻という。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比、前年比は、業者により増減分かれる。「中旬以降に出荷が集中」「菓子の流通は、全体としてはプラスで推移している様子。ただ、個々の商品やイベントで明暗は分かれていると思われる」「年末向けの受注量は過去最高。年末市場に限って言えば景気がやや上昇か」などの声の一方、「前年対比は相当落ちている。2～3月に期待したい」などの声も。先行き大きな動きは見込んでいないとの声が多いが、一部に増加を見込む声も。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。雇用面では総じて現状維持。設備面でも現状維持との声が多いが、一部に「実施中」との声も。

水引製品の販売は、前月比減少～やや減少。一部に前年比はやや増加との声。「今月上旬は繁忙期のピーク。中旬以降は低調だった」「生もの付正月飾りの生産が増加」などの声。原材料、資材価格に関し、「輸入品の一部のもので値上げの通告あり。国内単価をどうするか検討中。今年一年の円相場の方角性が気になる」との報が寄せられた。また雇用面で、「年々12月に入ってからのパート、アルバイトの確保が難しくなってきている」という。一部に設備面で積極的な声があ

る。「儀式用品が低迷する中で、正月飾りに特化しかけているがそれにも問題はあと思う。といて、他の関連商品になかなか結び付かない。隔靴搔痒の感」との声が寄せられた。

漬物の販売は、前月比、前年比ともやや増加、「例年12月は下旬にならないと動かないが、今年もそうした傾向だった」との声が寄せられた。「全体に人員面で不足感が出始めているように感じる」との声が聞かれた。

その他製造業

食品関連包材の生産は前月比、前年比ともにやや増加、先行き弱含みとの声が寄せられた。先行き、原材料、資材価格の上昇が見込まれているという。

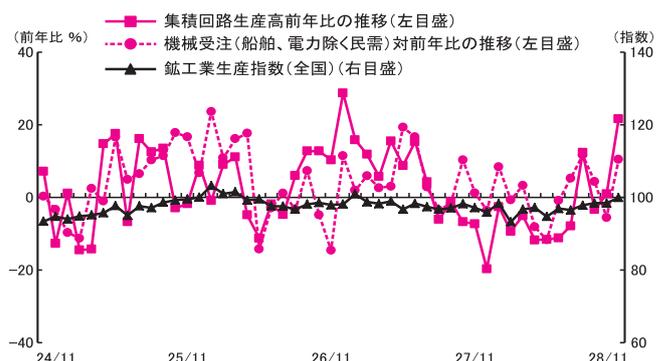
衣料品の売上は、前月比、前年比とも増加との声。しかし景況感は悪化しており、これには「春夏物の投入が遅れ、納期が間に合わない」「発注元が非常に偏っていた。それに伴い空いている工場も多かった」などのほか、「中国は1月28日から旧正月で、国内の受注は増えている。だが、海外の出荷が減り、全体では減少」といった事情があるという。業界全体に「受注アイテムが薄い素材になる。工場によっては空きが出るのでは」「バーゲンが早く始まるが、春物の生産が追い付いておらず、売場商品に欠品が生じるのでは」といった事情があり、こうしたこともあって先行きの不透明感も増している様子。人員不足が続いているとの声。設備面では当面現状維持との声。

住宅機器、オフィス家具や店舗用什器などの家具の販売は、前月比増加も前年比減少。景況感の悪化には至らないものの、「年末需要が全く起きずに年を超えた」「年明け以降、より一層デフレスパイラルが深刻化しそう」などの声が寄せられた。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。

【企業からのコメント】

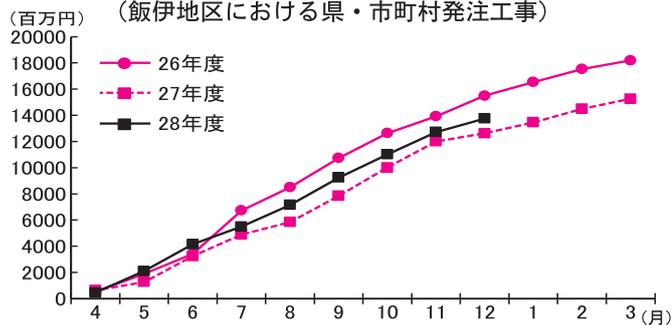
- ★5名増員。その後も増員を予定。
- ★日々の業務に支障はないが、先を考えた採用が必要かもしれない。
- ★人員不足で派遣を依頼中。しかし派遣会社にも人がいない。
- ★資材の高騰が気になり。ものによっては欠品しているものもある。
- ★米国の政権交代による変化を注視。
- ★車向け設備では米国新大統領の今後の動きを心配する声も多い。
- ★米国の新大統領に注目しているが、全体の方向性が見えない。
- ★中小企業への投資を大いに期待する。

集積回路、機械受注・鉱工業生産指数の推移



入札額累計の推移

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新建新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -26.7 (先月 15.4)

翌月予測DI -12.5 (先月 0.0)

官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約10.4億円で、前月比は39%減少、前年比は66%増加している(1月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや減少～横ばいとの声が多い。「当社は受注があった」などやや増加との声も複数あるものの、こうした業者でも「補正予算で、三遠南信自動車道工事やリニア関連工事、耐震補強工事など国、県、市ともにくらか工事が始まったが、まだまだ競争は厳しい」「実際に動き出すのは年が明けてから。目下は公共、民間合わせて何とか動いている程度で、繁忙感はない」など景況感の好転には至っていない。その他、「昨年とは比較にならないほど受注残高は減少」「例年なら忙しい土木業者でも、そうでもないところも見受けられる」「公共土木の受注が少ない」「年度末が近く、官公庁の発注が少なく疲弊気味。受注も二極化しており、大手の下請けは多忙な様子もある」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者も少なくない。こうした中、「年間の総売上は減少しそうだが、受注単価の改善などもあって半期では利益確保ができそう」「財務の良い会社は利益が出るが、借入に頼る会社は厳しい」などの声が寄せられた。

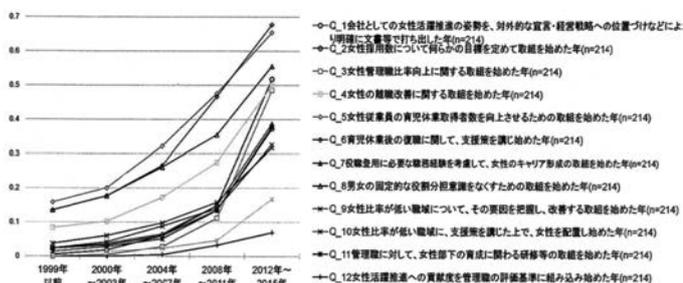
「ガソリン等」「燃料等」「石油製品」などが「やや上昇」の様子。

「建設技術者が不足気味」「施工、設計職を募集中」「技術者の募集をしている」などの声は多く、「ハローワークへの技術者の求人数は確実に増加しているが、応募者は非常に少ない様子。数年後には技術者、技能者を多く抱える企業が生き残っていくといっても過言ではないのではないか」との声も。併せて、「長時間労働の問題がクローズアップされている折、建設業であっても人材確保とその取組が重要になってくるのだろう」との声が寄せられた。

国土交通省の「国土交通分野における女性活躍推進策に関するアンケート調査～企業の取組の効果～」によると、企業の女性活躍推進に関する取組は近年になって加速しているという(下図)。

この調査では種々の女性活躍推進の取組が従業員の

女性活躍推進策の導入比率



女性比率や離職率、従業員の意識などに与える影響を統計的に分析しており、例えば「女性の昇進の意欲」について、「女性の平均は低いものの、特に建設業では多くの取組が昇進意欲の上昇に寄与する」という。

民需

当地区の11月の住宅着工戸数は50戸。前月比2%減少、前年比も14%減少している。

当月の調査先業者の受注残高の前月比は、業者により増減分かれる。「新築住宅はボツボツといったところだが、契約までに長い時間と手間がかかる」「民間建築の受注は少しある」「全体に仕事は少ないと思うが、内装者さんは手一杯と聞く」「住宅改修工事のみ」などの声が寄せられ、多くの業者で景況感の好転には至っていない。

ここでも「人員は不足気味。確保を予定している」「新規雇用検討中」など雇用面で不足感を指摘する声が複数聞かれた。

建設資材

建材、塗料等の売上は、前月比減少～概ね横ばい、前年比は業者により増減分かれる。「毎年の流れで冬場は売上減少傾向。3月以降の伸びに期待」などの声が寄せられた。仕入に「為替にもよるのだが、内建材の針葉樹不足で、輸入ラワン材の値上がりは避けられない」という。「仕上材(外装材)の職人不足で、地場の工務店や建築屋さんは思うように完成できない」との声が寄せられた。

鋼材の売上は、前月比やや減少、「年末というのに動きは一段と悪化。どの業種というより全体に悪い。これといった原因を探すのも難しく、耐えていくしかない」との声が寄せられた。「鋼材価格は、メーカーの強気、値上げの中、流通も追随すると思われるが、目立った動きはまだない」という。

生コンの売上の前月比は、「堰堤工事が予定通り打設。遅れていた三遠南信自動車道関連の工事も出始め、前月と同じくらいの出荷量があった」との声も寄せられたが、「砂防、堰堤、護岸の公共土木工事と、三遠南信自動車道工事があったものの、核となる大型工事がなかったため前月比、前年比とも減少してしまった。次月も民間、建築工事などがなく、公共土木工事に頼ることになりそうで、出荷の増加は望めない」など景況感が悪化した業者も見受けられた。

骨材等の売上も、前月比、前年比とも減少。「12月は出荷が少なかった」「生コンの動きは非常に良くない。民間建築はそれなりに生コンを使っているが、公共の土木、建築が少ないのが現状。発注物件や予定されている物件で生コン出荷があるものもあるが、ガラッと変えるには至らない感」などの声が寄せられた。一部に雇用面で積極的な声が聞かれた。

【企業からのコメント】

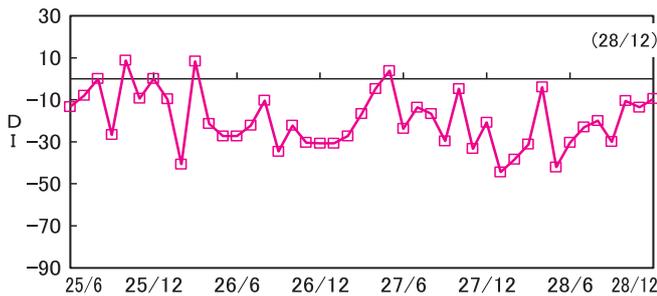
- ★株は上がっても地元の景気は良くならない。
- ★リニア需要に向け、瞬発力が増す方向に向けて改善製品在庫確保を行いたいところだが、現状では思い切ったことには慎重にならざるを得ない。
- ★リニア関連の工事に期待。

住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

12月 ○下伊那地方事務所
 新築 10件 (前年 2件)
 増築 5件 (前年 2件)
 ○飯田市役所分
 新築 22件 (前年 22件)
 増築 0件 (前年 0件)
 ※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業

商業・サービス業DI



当月景況DI	-9.5 (先月 -13.6)
翌月予測DI	-15.8 (先月 -22.7)

商業

食料品の売上の前年比は、業者により増減分かれる。「9月から少々落ち込んでいたが12月はケーキ等季節商品の予約で増加」「クリスマス、年末ともに商材の売上が伸びず、年末は特に野菜の価格が例年以上に高く、売上減」「30日の売上減がやや影響」などの声。景況感の好転には至っておらず、「今後の動向が少々不安」との声も。「年末年始はアルバイトを増員して対応」との声も寄せられた。

【青果卸売市場】

年末で単価の高い商品の取扱増もあって前月比、前年比とも増加の声。

野菜は、「昨年では暖冬による価格安であったが、今年は秋の長雨や台風の影響が続き野菜の価格は前年比16%高。特に需要の多い白菜・キャベツ・ブロッコリーは2倍以上の価格であった。年明けには徐々に平年並みの価格になる見込み」という。

果実は、「主力商品の干し柿は順調な入荷（前年比27%増）で価格は10%安、そのほか、みかん・ふじ・苺は品薄で価格高であった。全体では入荷量10%減の価格は21%高であった」との声。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比増加。

家事用品卸の売上は、前月比やや増加、前年比はほぼ横ばいという。「正月に必ず必要とされていた正月用品が、年毎に少なくなってきたと感じる」との声が寄せられた。

家電の売上は、「月初めに販促活動をした」など前月比やや増加、前年比はやや減少～概ね横ばい。「季節商品の小型エアコン、石油ファンヒーター、石油ストーブはまずまずの動き」「住宅設備関連は、システムキッチン、システムバス、エコキュートといった商材がハウスメーカー進出により低迷。それに伴い建築店も厳しい状況」等の声が寄せられた。

OA機器の売上は、前月比やや増加、前年比はやや減少、「年度末を迎えるまでは厳しい。複合機は出し切った感がある。年末調整向けに需要が見込まれたマイナンバー関連商材もほとんど動きがなかった」との声が寄せられた。

衣料品の売上の前月比は、業者により増減分かれる。「気温はあまり関係ないと思うが冬物衣料の動きが鈍い感」などの声。前年比はやや減少との声が多く、「昨年改装セールがあったため」「前年が良かった反動かもしれない」「土木関係のお客様は若干良かった話はあるが、全般にあまり良くない。メーカーからも9月頃から良い話が聞かれない」などの声が寄せられた。

娯楽用品の売上は、「クリスマス商戦期でもあり前月比は大幅増加。前年比は変わらず」との声。

土産物関連の売上は、前月比減少～やや減少。「雪が少なそう。スキー場が低調なら今後の売上に影響するかもしれない」との声が聞かれた。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台

数は、新車は前月比ほぼ横ばい、前年比は10%減少。中古車は、前月比4%増加、前年比は11%減少。11月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は前月比3%増加、前年比は8%減少。中古車は前月比10%減少、前年比は1%増加した。

自動車販売、整備の売上は、前月比やや増加も、「12月は商談が少なかった。買取り台数も減少」との声。前年比は「昨年の新車特需の影響」もあって減少という。「中古車で高額車両が比較的多かったため仕入単価上昇。それに伴い販売単価も上がっている」という。「自動車販売はこのところ活気に欠ける。広告宣伝と提案型の営業方法を今一度見直す必要性を感じる」との声が寄せられた。

サービス業

市内料理店の売上の前年比は、業者により増減分かれる。「昨年までの12月と違い、週末は忙しかったが平日の売上が少なく減少。年間を通して見ると、原因は具体的には分からないが、前年同月割れの月も多く、その減少幅も大きい」などの声や、「昨年に比べ出前が多く、その分プラス」との声が聞かれたが、こうした業者でも景況感「良くなるとは思えない」という。仕入に関し「年末は値上がりするが、昨年に比べ品薄」との声。設備面で「テーブル席の検討」など積極的な声が聞かれた。

昼神温泉の売上は、減少～やや減少。「紅葉、ナイトツアー終了後お客様は減少している」という。「客層が変わったことが実感として感じ取れる。高齢者のお客様が減少し、若いカップル、女性グループが非常に目につくようになった」「プロジェクトマップングが始まったものの、課題が多い様子」等の声。「スキー客は週末にかけて目につくようになってきた」「年末年始の予約は例年同様であった」などの声が寄せられた。

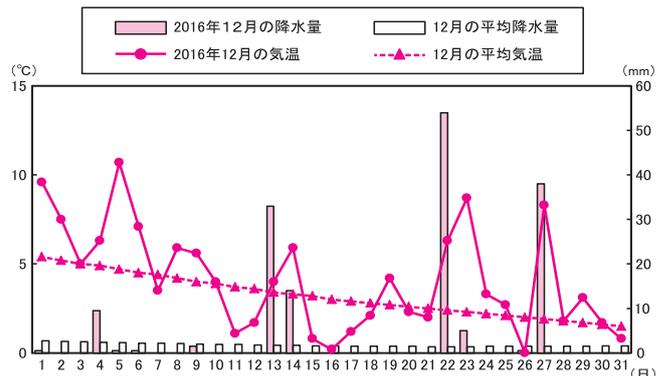
旅行代理店の売上は、前月比やや減少。「秋の観光シーズンが終わり、オフシーズンへと入った。年末年始の海外・国内旅行需要は前年並み。向こう3月までは、比較的温暖な地域への旅行が見込まれる」との声。

タクシーの売上は、前月比やや増加、前年比はやや減少という。「繁忙月ではあったが、需要が週末に集中してしまい、平日夜間の需要が上がってこなかった」との声。「事業者1社では不可能でも、業界で協力してサービスの継続を実行することが重要ではないか。今後は更なる人材不足により各社運転手不足になるため、需要に応える機動力不足になってしまうのではないか。そのために先を見据えて今から行動していく必要がある」などの声が寄せられた。

【企業からのコメント】

- ★「将来が不安。先が見えないから消費が少ない」との話しも聞く。若者には将来の安心感が一番大切と思う。
- ★良い営業員の拡充が課題。

飯田の気温と降水量



流れ雲の目(15) 社長の仕事

飯田信用金庫 経営相談所
専門アドバイザー 小泉 敏郎

会社経営には人、物、金その他いろいろな大事な資源があります。製造業で考えると、機械は正直で、調子いい時も具合が悪い時も素直に行動してくれて、万が一問題があれば必ず明確な原因があります。材料、製品、商品も正直ですね、あるがままですから。

「人」、従業員はどうでしょう？ 人間はその時、その場によって変化しますね。同じ仕事をして、その都度出来栄えが微妙に違ってきます。

いい例はゴルフです、同じ条件で止まっている玉を打つのですが、見事に同じ結果は得られません。仕事だけではなく、いろいろの場面で、昨日まで和やかに話し合い、意見がまとまり、明日からこうしようと決めても、いざ当日になると何か雰囲気がちよっと違うということありませんか？ 中には自分の意見を持っていないのに、何故かあいつの意見には賛同できないと、必ず反対する人がいます。人間は感情があり、好き嫌いがあり、まったく大変な生き物です。その難しい人間社会で、家族、兄弟、部下、従業員を束ねて会社運営をするのですから、社長業は大変な仕事だと思います。

ある会社で社長、専務、常務と意見が合わず、雰囲気の暗い会社がありました。従業員もそれぞれ幾つかに分かれていて、社内の連携もあまり上手くいかないようです。

社長やその親族は別としても、従業員はこう考えるでしょう。自分の将来を考えたときにこの会社をどう見るか？ 長く勤める会社と思えるかですね。結婚し、子供ができ、そして子供の将来を考えた時、家も欲しい、車も欲しい、あれも欲しいこれも欲しい、当然の欲求です。ほんとにこの会社に勤めていて大丈夫なのだろうか？ 転職するなら若いうち、早いほうがいいのかもとすら思うでしょう。その会社では、新人を入れても、何故かすぐに辞めてしまう。暗い雰囲気に耐えられなかったとか、誰の指示を聞いたらいいのか分からない、将来性を感じられなかったなど、いろいろな原因も考えられます。

船に船頭は一人いればいい、二人も三人もいると舵取りが難しく、船は目標に向かって真っ直ぐに進まなくなります。それどころか、TOPが対立しているそんな泥の船では、転覆すらしかねません。しかし船頭一人といっても、独断専行してよい訳ではありません。皆の意見を聞き、議論をし、自社の力量を把握した上で、TOPとしての意思決定をし、最善の方向に向かわなくてはなりません。部下の話、意見を聞き、最後は社長が決断する。そして決断したら、従業員をその方向に自ら導いていくことが必要です。言うことを聞かない、なんて言い訳はなしです。力づくではなく、社員が自ら付いてくるようにする、それが社長の能力、仕事です。

ある会社の社長ですが、能力もあり、業績もまあまあ、しかし非常にワンマンで、喜怒哀楽が大きい社長でした。業績のいいときは、ご機嫌で従業員に気持ちよく、労いの言葉をかけてボーナスを手渡していました。ここに来て業績が悪化し、ボーナスも前年にくらべ大幅ダウンせざる得なくなりました。それでも出だけいいのですが、従業員に手渡すときに、皆の努力が足りないから、こんなことになってしまったと愚痴を言いながら渡しました。従業員の気持ちはどんなだったのでしょうか？ できる社長なら、前期は残念ながら、皆の努力があったにもかかわらず不甲斐ない成績に終わってしまった、これだけしか出せないが、我慢して欲しい。気持ちを新たに、今年度は目標達成に向け皆で頑張ろう、ご苦労様でした。と手渡すでしょう。感謝の言葉、これだけでも従業員の気持ちは変わるものです。人間とは不思議にそういうものですよね。金額は多いに越したことはありませんが、放り投げてもらうのと、少なくとも感謝の言葉でもらうのとでは、雲泥の差があると思うのですが。感謝の言葉は只です。社長の腹は痛みませんよね。真心のこもった言葉は千金に値するのですね。

企業は社長一人で成り立つものではない。企業の大小はありますが、従業員があって成り立っているものです。自分は永年汗水たらしてここまで来た、若い者に負けるものか！それも大事です。

しかし、従業員なくしては運営できません、自分に無い能力も必要です、すべて自分ができると気張ってみても、そんな人間一人でできる範囲はたかが知れています。いろいろな自分にはない能力の人間が集まるからこそ、大きな仕事もできるし、新しいことにも挑戦していけるのです。野球で言えば監督。選手より打撃力、守備力と技量では負けています。当たり前ですよ。でも勝てる物がある、それはマネージメント力です、統率力、包容力です。企業の社長の一番大事な条件は、自分より優秀な部下を使えるということではないでしょうか？何度も言いますが社長一人で全てはできません。従業員が気持ち良く社長の方針に従い、それぞれの持っている能力を發揮して、果敢に挑戦している姿が最高だと思いますが。

経営者が真っ先に考えなければならないのは、利益です。まず経営者がやらなければならないことは、利益を出すこと、それには経営方針、経営目標、数値計画に沿って会社を運営し、そういう仕事をしている社員に報い、そうでない社員の意識を変えさせること、あるいは入れ替えることです。利益が無ければ社員にボーナスも出せません。優秀な人材も採用できません、新規設備投資も駄目、ましてや新商品の開発費用も捻出できません。利益なくして会社は存続できません。会社の目的は利益を上げ、生き続けることです、それが社会に貢献することに繋がります。従業員の協力、働きがあって初めて会社経営が出来るのです。

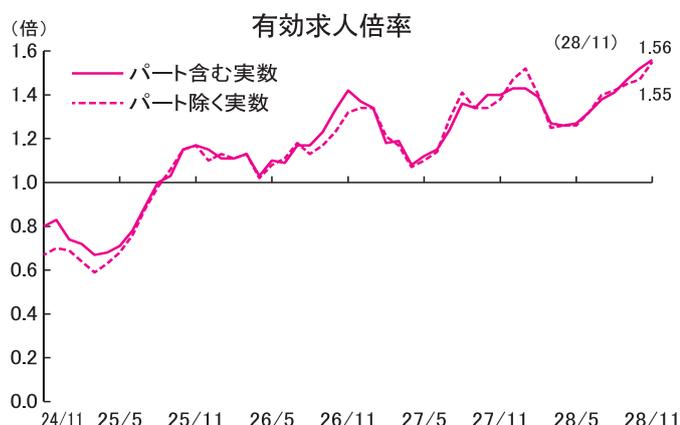
最後に一言、社長の能力一つで会社の将来は決まります。伸びている会社、衰退する会社には、それぞれそれなりの理由があるものなのです。非常に変化の激しい時代です、素早く時代、環境の変化を察知して、自ら変化対応し、先を見て目標を定め、従業員と共に生き残りましょう、いや勝ち残りましょう。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

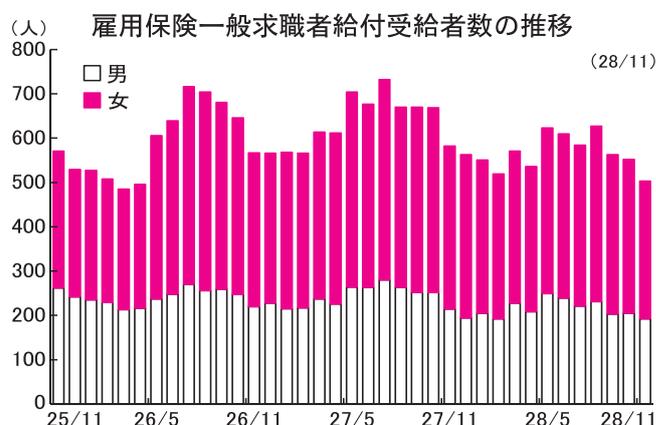
今回執筆を担当する当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 経営相談所（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



11月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.56倍と、前月から0.04ポイント上昇。パートを除く実数は1.55倍で、前月から0.08ポイント上昇している。



11月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は13人減少、女性も36人減少しており、全体では503人と前月から49人減少している。

(資料：ハローワーク飯田)

「第9回 三遠南信しんきんサミット 『三遠南信地域に関するアンケート』調査結果」にみる特徴 ～ 個人編 (その2) ～

個人編のアンケートの前半は3地域の住民に対し他の2地域についてお尋ねする、言い換えれば自地域が他の2地域からどうみられているかという設問にしている。

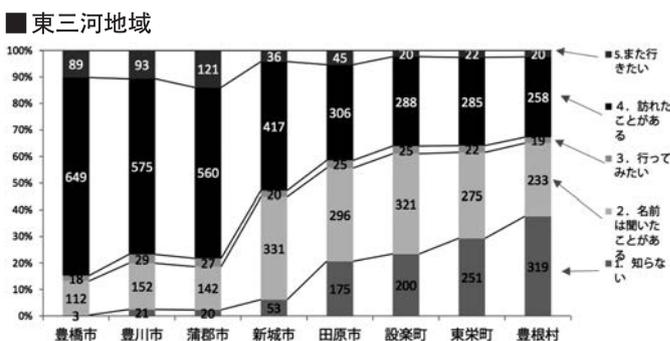
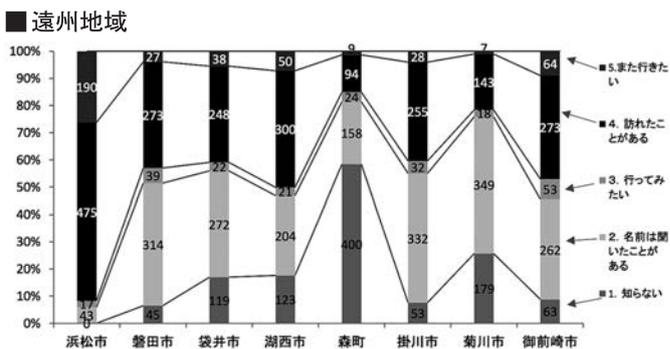
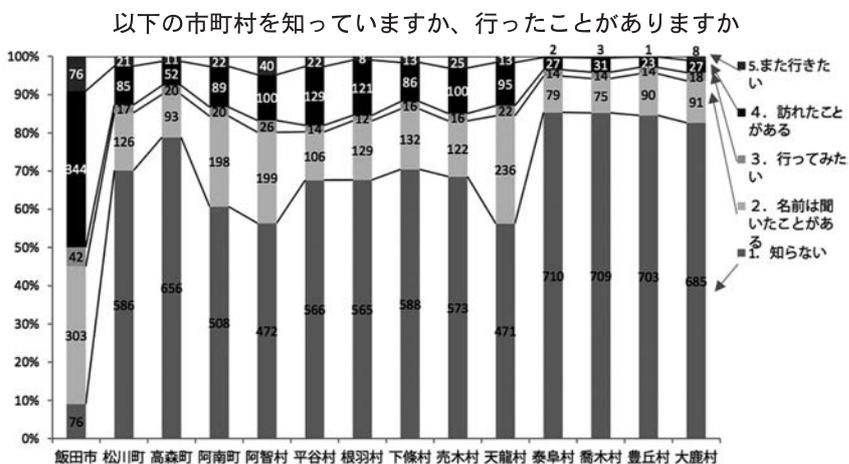
1. 三遠南信地域の市町村を知っていますか 結果は想定内? 想定外?

三遠南信地域の市町村について、名前を知っているか、行ったことがあるかを「①知らない、②名前は聞いたことがある、③行ってみたい、④訪れたことがある、⑤また行きたい」で回答いただいた。南信州地域の市町村の結果は右グラフの通り。

南信州地域では、飯田市の知名度・訪問度合は、下のグラフの遠州地域、

東三河地域の市に近い水準であるものの、下伊那郡の町村は押しなべて「①知らない」の回答が多い。この結果は当地域の皆さんの感覚からみてどうであろうか。ある村の理事者から「当村はある程度知名度があると思っていたのでショック」とのお話を伺った。

本アンケート個人編は、3地域に暮らす一般住民に対してお尋ねしての結果であり、これが現状として考え、対応していく必要があるだろう。3地域のグラフをみると、遠州地域、東三河地域に対する南信州地域の認知度・関心度合が高いのに対し、両地域の当地域に対する関心は低いことの表れである。



2. 年齢階層による異なる認知度・関心度

この要因を解明するため、本アンケートの別の結果から考えてみたい。

アンケートの「5. 次の地域に対してどんな印象を持っていますか」の設問で「23親しみを感じる」では、「とてもそう思う」を2、「ややそう思う」を1、「わからない」を0、「やや違う」を-1、「違う」を-2として集計するが、今回はこれを年齢区分別に算出した。

3つのグラフとも40代と50代の間に不連続があるように見える。昭和44年(1969年)に東名高速が全線開通、昭和50年(1975年)に中央自動車道が小牧JCTから駒ヶ根ICまで開通し、3地域は本格的な自動車による高速交通網の時代となる。道路が鉄道による交流に取って代わり、3地域間の交流がやや細くなったのでは、というのが現段階での仮説である。ただ、南信州地域の遠州地域に対する親密度は30代から20代にかけて高まっている。同様に東三河地域に対しては、30代でかなり高い。2地域には当地域の30代、20代を引きつけるものがあるとみられる。

遠州地域と東三河地域の間では、遠州地域に対して東三河地域は各年齢区分で均等に親密度があるのに対し、東三河地域に対しては遠州地域では30代、20代になるに従って低くなっている。この点では東三河地域の遠州地域に対する片思い傾向がみられる、ともいえる。

南信州地域に対しての親密度は、遠州地域、東三河地域の30代、20代はゼロ値またはマイナスとなっている。南信州地域は若者にとって魅力のあるものが見当たらないということであろうか。

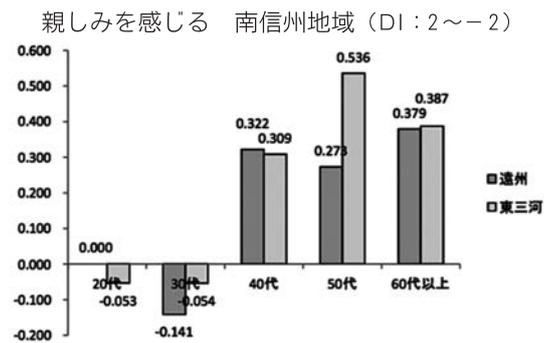
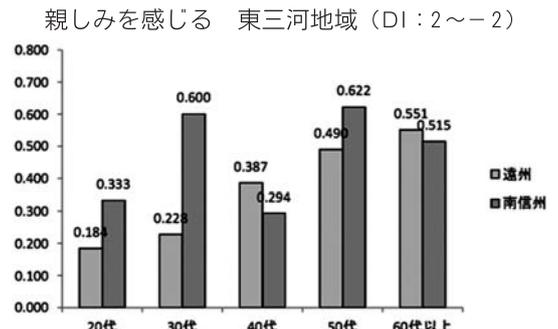
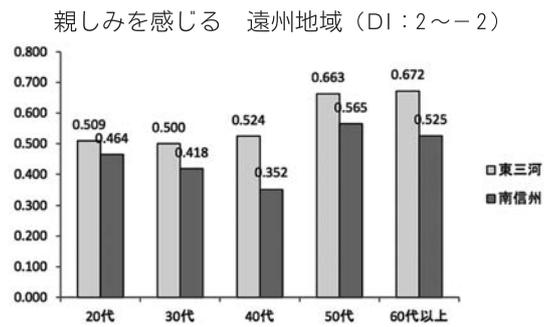
3. 地域で考えることは

このほか、三遠南信自動車がまだ開通していない段階で3地域の交流が低調な現状なため、当地域としては関東圏・中京圏の方を向いていて、2地域に対し十分な情報発信ができていない、ということも考えられる。

アンケートの自由記入でみると当地域は「温泉」や「果物狩り」等で評価が高く、来訪事由となって往来があるものの、やはり若者に対し発信し、訴求できるものに欠いている、ということは考えられる。

本アンケート報告書は、飯田信用金庫HP (<http://www.iidashinkin.co.jp/region/sanen/>) に掲載しています。

次の地域に対してどんな印象を持っていますか



(飯田信用金庫 総合企画部 リニア対策室 加藤 修平)

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数					
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%
平成23年	557	△ 5.3	322,932	△ 3.5	186,915	△ 1.6	118,624	△ 20.1
24	519	△ 6.8	328,149	1.6	186,582	△ 0.2	116,485	△ 1.8
25	737	42.0	325,892	△ 0.7	190,248	2.0	113,743	△ 2.4
26	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1
28	—	—	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8
平成27.10	42	13.5	27,359	△ 0.9	17,700	9.7	10,841	13.0
11	58	34.9	26,192	△ 4.7	17,564	5.5	9,957	6.3
12	47	△ 6.0	27,708	0.0	17,019	4.3	8,886	7.8
平成28.1	37	△ 11.9	25,395	△ 6.2	16,384	1.6	8,756	△ 1.1
2	43	16.2	22,895	2.6	15,101	1.6	8,620	1.4
3	51	264.3	30,309	0.8	18,941	3.8	10,456	△ 2.7
4	37	△ 28.8	25,220	3.8	14,959	△ 0.4	9,956	△ 11.3
5	45	0.0	28,250	△ 2.8	16,930	△ 3.5	10,360	△ 27.6
6	64	39.1	22,591	△ 5.5	14,856	1.1	9,900	△ 5.0
7	58	9.4	26,517	4.2	17,613	9.2	9,975	△ 0.2
8	70	4.5	36,140	△ 5.2	22,181	5.5	10,273	△ 5.4
9	78	30.0	26,977	△ 4.0	17,418	0.3	9,385	△ 3.0
10	51	21.4	28,049	2.5	18,676	5.5	10,272	△ 5.2
11	50	△ 13.8	25,575	△ 2.4	17,622	0.3	9,285	△ 6.7
12	—	—	28,239	1.9	18,090	6.3	8,605	△ 3.2
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社					

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本登録事務所管内)				有効求人倍率	
	新車		中古車		長野県	飯田管内
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値(但、年平均は実数)	
	台	%	台	%	倍	倍
平成23年	24,943	△ 17.1	6,983	△ 1.4	0.72	—
24	32,028	28.4	7,390	5.8	0.81	—
25	30,532	△ 4.7	7,660	3.7	0.87	—
26	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	—	—
平成27.10	2,320	1.6	677	14.4	1.28	1.15
11	2,226	4.3	580	14.6	1.28	1.21
12	2,303	9.1	626	7.9	1.28	1.38
平成28.1	2,199	3.8	436	2.8	1.33	1.70
2	2,333	△ 12.1	573	0.4	1.31	1.35
3	3,968	△ 7.1	922	3.9	1.31	1.47
4	1,991	△ 4.1	700	△ 8.6	1.39	1.43
5	2,105	7.5	586	△ 8.2	1.43	1.43
6	2,485	△ 9.1	770	6.5	1.42	1.39
7	2,080	△ 19.7	568	△ 23.7	1.40	1.33
8	1,697	△ 9.4	551	△ 1.4	1.42	1.37
9	2,565	△ 14.5	597	△ 4.3	1.43	1.33
10	2,172	△ 6.4	634	△ 6.4	1.47	1.35
11	2,074	△ 6.8	538	△ 7.2	1.48	—
12	2,082	△ 9.6	558	△ 10.9	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野県労働局・ハローワーク飯田	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成23年	72,078	92,170,690	155	13	2,132	8.9
24	65,692	86,556,524	138	17	1,913	△ 10.3
25	60,405	81,013,729	113	8	2,018	5.5
26	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
平成27.10	3,568	3,431,913	7	3	169	5.6
11	4,459	4,693,258	5	0	143	△ 8.3
12	4,174	4,939,413	8	1	234	8.8
平成28.1	3,670	4,132,486	7	0	112	△ 14.5
2	4,527	5,291,046	9	1	161	△ 5.3
3	4,247	4,903,346	10	1	277	△ 2.1
4	3,360	3,588,321	7	1	132	9.1
5	4,493	5,008,672	5	0	138	8.7
6	3,934	4,815,045	6	2	158	△ 9.2
7	3,334	3,496,772	9	0	182	△ 5.2
8	4,456	5,177,038	8	1	149	△ 8.0
9	3,791	4,807,264	6	0	176	△ 17.8
10	3,779	3,762,544	7	1	147	△ 13.0
11	3,720	3,727,391	9	0	166	16.1
12	3,973	4,701,810	5	1	206	△ 12.0
資料出所	飯田手形交換所		下伊那地方事務所商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成23年	2,917,737	△ 2.4	1,851,218	△ 0.7	372,191	△ 4.8	950,485	1.3
24	2,933,104	0.5	1,913,719	3.4	376,518	1.2	1,010,571	6.3
25	2,970,606	1.3	1,939,863	1.4	417,360	10.8	1,070,386	5.9
26	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4
平成27.10	257,669	7.9	171,575	4.6	50,261	47.1	105,889	20.8
11	241,224	△ 1.7	176,682	△ 3.5	34,790	△ 0.5	96,513	3.6
12	225,302	2.5	148,024	2.7	27,655	18.6	79,038	11.3
平成28.1	207,069	△ 0.5	126,156	△ 2.9	30,469	5.1	71,319	4.6
2	196,086	2.8	122,344	△ 1.0	29,832	11.7	69,690	11.2
3	236,486	1.1	146,710	△ 0.5	30,044	4.9	81,780	3.4
4	219,698	0.4	138,538	△ 2.6	38,704	9.0	84,158	△ 1.7
5	233,685	△ 6.0	149,561	△ 6.3	34,673	△ 25.7	88,828	△ 8.0
6	220,412	0.5	145,235	1.2	19,467	△ 24.6	74,196	△ 4.6
7	237,316	0.8	155,742	3.2	28,941	△ 18.9	87,501	0.1
8	257,508	△ 0.3	168,515	1.3	40,992	△ 18.5	112,045	1.0
9	229,323	△ 5.8	158,198	△ 2.2	28,382	△ 36.8	83,848	△ 14.5
10	247,170	△ 4.1	172,088	0.3	37,037	△ 26.3	97,816	△ 7.6
11	242,056	0.3	180,920	2.4	32,774	△ 5.8	94,113	△ 2.5
12	228,660	1.5	155,405	5.0	24,577	△ 11.1	77,284	△ 2.2
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							